



# 看護の保護、価値、 投資の提唱



**2021**  
**ANNUAL REPORT**  
THE INTERNATIONAL  
COUNCIL OF NURSES

本文書の無断複製、無断転載及び他言語への無断翻訳を禁ずる。本文書のいかなる部分も、国際看護師協会の文書による許可なしに、印刷、コピーまたはその他の方法により複製すること、情報検索システムに保存すること、何らかの形式により伝送すること、または販売することはできない。短い引用（300語未満）であれば、出典を記載のうえで許可なく複製しても良い。

Copyright © 2022 by ICN  
International Council of Nurses,  
3, place Jean-Marteau,  
1201 Geneva, Switzerland  
ISBN: 978-92-95099-98-2

Photographic credits:

Alberto Giuliani  
Columbia University School of Nursing International  
Council of Nurses  
Terri Hyde, CDC  
Martin Van Der Belen, ICRC  
Elisa Fourt, MSF  
Adrian Wressell, Heart of England NHS FT  
Marion van Ool  
Jayme Gershen, WHO  
Mandy O'Neill, WHO  
Oliver Moeckli, ICRC  
Kate HOLT, ICRC  
Florian Seriex, ICRC  
Sarah Velasco, ICRC  
Saara Mansikkamaki, ICRC  
Tyumen Regional Nurses Association  
Blink Media, Bart Verweij, 2020, WHO  
MSF  
Florian Seriex, ICRC  
Australian Primary Health Care Nurses Association

(公・社) 日本看護協会訳 2023年2月

# THE INTERNATIONAL COUNCIL OF NURSES

## 国際看護師協会

国際看護師協会（ICN）は、130 以上の各国看護師協会（NNAs）から構成され、世界中の 2,700 万人以上の看護師を代表しています。1899 年に世界で初めて設立された国際的な保健医療専門職団体の最大の組織です。ICN は、看護師によって運営され、世界中の看護師をリードしながら、すべての人々へ質の高い看護を提供し、健全な保健政策を世界的に推進し、看護の知識を発展させ、世界的に看護師が尊敬される看護専門職であること、コンピテンシーを備えた満足度の高い看護労働力の確保に向けた活動をしています。

Twitter と Facebook でフォローをお願いします。



## 目次

|                                      |           |   |           |
|--------------------------------------|-----------|---|-----------|
| <b>ICN 会長ご挨拶</b> .....               | <b>5</b>  | <b>ICN 目標3：戦略的リーダーシップ</b> .....                       | <b>32</b> |
| <b>ICN について</b> .....                | <b>6</b>  | ICN 世界看護指導者機関 .....                                   | 33        |
| ICN 会員と提携専門団体 .....                  | 6         | リーダーシップ・フォー・チェンジ™ .....                               | 33        |
| ICN 事務局 .....                        | 8         | ICN 認定グローバル・ナース・コンサルタント .....                         | 35        |
| ICN 理事会（2017-2021年,2021-2025年） ..... | 10        | アドバンスト・プラクティス・ナーシング .....                             | 35        |
| ICN の使命、3本の柱、戦略計画 .....              | 11        | APNに関する出版物 .....                                      | 35        |
| 会員協会代表者会議（CNR） .....                 | 11        | ICN ナース・プラクティショナー/アドバンスト・プラ<br>クティス・ナーシングネットワーク ..... | 35        |
| <b>ICN 目標1：グローバルインパクト</b> .....      | <b>12</b> | <b>ICN 目標4：革新的な成長</b> .....                           | <b>36</b> |
| 世界の健康政策 .....                        | 12        | ICN 大会 .....  | 37        |
| 国際医療従事者年 .....                       | 13        | 看護実践国際分類® .....                                       | 38        |
| 世界保健機関 .....                         | 13        | メディアとソーシャルメディア .....                                  | 38        |
| 国際連合 .....                           | 16        | BBCとのパートナーシップ .....                                   | 38        |
| 国際労働機関 .....                         | 17        | 出版物 .....   | 38        |
| 世界保健医療専門職同盟 .....                    | 17        | <b>2021年度決算概況</b> .....                               | <b>39</b> |
| G7とG20 .....                         | 18        |   |           |
| Nursing Now グループ .....               | 18        |   |           |
| 世界的な健康問題 .....                       | 19        |   |           |
| COVID-19 .....                       | 19        |   |           |
| 非感染性疾患 .....                         | 20        |   |           |
| 患者安全 .....                           | 21        |   |           |
| メンタルヘルス .....                        | 21        |   |           |
| 気候変動 .....                           | 21        |   |           |
| ジェンダー平等 .....                        | 22        |   |           |
| 2021年国際看護師の日 .....                   | 23        |   |           |
| <b>ICN 目標2：会員のエンパワメント</b> .....      | <b>24</b> |   |           |
| 表彰 .....                             | 25        |   |           |
| 看護学生 .....                           | 27        |   |           |
| 看護労働力の強化と保護 .....                    | 27        |   |           |
| 看護労働力の課題への対応 .....                   | 27        |   |           |
| 教育 .....                             | 27        |   |           |
| 暴力 .....                             | 28        |   |           |
| ワクチンの公平性 .....                       | 28        |   |           |
| <b>NNAsの強化</b> .....                 | <b>30</b> |   |           |
| 各国看護師協会組織開発（ODENNA） .....            | 30        |   |           |
| ICN 看護師の倫理綱領 .....                   | 30        |   |           |
| 世界継続教育同盟 .....                       | 30        |   |           |
| アドボカシーとロビー活動 .....                   | 31        |   |           |
| ICN 人道基金 .....                       | 31        |   |           |

2014年に国連で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」には、世界の持続可能な開発課題を幅広く網羅した17の目標が掲げられている。看護はSDGの「目標3：あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」において重要な役割を果たしている。看護業務は他にも多くのSDGsへの取り組みに関わっており、また、看護師は広範な状況と、個人や集団の健康との関連性も理解している。看護師は、一次医療提供者として、あらゆる環境のあらゆるコミュニティにおいてSDGs達成の鍵となる存在である。

ICNの活動は、多くの側面でSDGsと重なっているため、本報告書でもSDGsのシンボルマークを用いて関連を示している。

## ICN 会長ご挨拶

1年を振り返って私たちの功績を称えるとともに、どの分野にもっと取り組むべきか、どうすれば私たちのミッションをよりよく達成できるのか、どうすれば会員の皆様にもっと貢献できるかを考えるのは、常に建設的であると考えます。パンデミックにより大変な思いをされてきた世界の看護師の擁護を続けていくという決意を新たに、2021年を迎えました。

私たちの優先事項は明確でした。看護師や助産師が忘れられることがないようにしました。ワクチン接種が開始されると、看護師やその他の保健医療従事者が優先され、暴力から守られ、仕事に対して正当な報酬を得られるようにしました。

年間を通して、BBC、CNN、Al Jazeera などの最も影響力のあるメディアやその他のメディア支局に対し、ワクチンの公平性や看護師不足、パンデミックが看護教育に及ぼす影響など、看護師が今後も直面し続ける課題について伝え、看護師をトップニュースに掲載し続けました。問題について語るだけではなく、保健教育再研修機会（HERO）基金などの解決策を提示しました。世界各地から毎週ケーススタディを発表し、看護師の最前線からの話を大きく取り上げました。世界保健総会などの国際政策立案会議に出席し、看護の声を意思決定プロセスに取り入れました。

私たちは、世界保健機関と緊密に連携し、「看護と助産のグローバル戦略の方向性（Global Strategic Directions for Nursing and Midwifery）」の策定、ICN大会での討論や討議を主導する専門家の招聘、世界保健総会や WHO 執行理事会への介入を継続的に行いました。

初めてオンラインで開催した ICN 大会は素晴らしい成功をおさめました。看護師が集まってベストプラクティスを共有し、課題の解決策を見出し、地域の優先事項に焦点を当てました。また、本会議では、世界中の看護師が、世界的な政治的リーダーや国際組織のリーダーといった多くの分野の専門家から話を聞くことができました。セレブリティからの応援メッセージも、士気を高めてくれました。

私たちはパンデミックが世界的な看護師不足、看護師の集団的トラウマ、そして看護教育に及ぼした影響について調査を行い、報告書を公表しました。麻酔看護師と処方看護師のためのガイドラインを作成し、東アフリカ、中央アフリカ、南アフリカ地域の看護師の教育や労働市場を総合的に評価しました。

こうした仕事の大半はアネット・ケネディ前会長の下で実施されており、ケネディ氏に感謝申し上げます。ケネディ氏は「ともに（Together）」という合言葉の下、世界中の看護師たちをひとつにまとめ、声を上げ、世界の保健政策に影響を与えました。

ICN は、私たちの成果を誇りに思うとともに、私たちのすべての活動を支えてくださっている各国看護師協会に感謝したいと思います。より良く、より利用しやすく、より公平な保健医療を目指して世界をリードするべく、より密接に協力して、会員協会と保健医療システムを強化していきたいと考えています。



パメラ・シプリアーノ博士  
国際看護師協会 会長

## 影響力

ICN 会長（2021～2025年）  
パメラ・シプリアーノの合言葉

## ICN について

ICNは、世界の各国看護師協会（National Nursing Associations/ NNAs）から構成される組織です。本部をスイス（ジュネーブ）におき、世界のあらゆる地域から選出される看護リーダーから成る理事会によって運営されている。



### ICN 会員と提携専門団体

ICNは130以上の各国看護師協会（NNAs）から構成され、世界中の何百万人も看護師を代表している。また、看護職にとって重要な課題について、これらの会員協会と直接協力している。さらに、ICNは、多くの国際的な看護専門団体に提携資格を与えており、これにより一定の特権と利益を付与している。

ICNは、世界レベルでの共同行動を通じて、会員に対し自国と世界の看護界に付加価値を提供することを保証し、共通の目標を達成するためのプラットフォームや手段を提供し、社会的利益、専門職開発、およびNNAsの発展をもたらすために協働する。ICNと会員は、幅広い非政府組織、政府、政府間機関、業界、主要な利害関係者と協力して、最大の影響を及ぼすことを実現する。

- Collegi d'Infermeres i Llevadores d'**Andorra**
- Associação Nacional de Enfermeiros de **Angola**
- Federación **Argentina** de Enfermería
- **Aruba** Nurses Association (ODEA)
- **Australian** College of Nursing
- Österreichischer Gesundheits- und Krankenpflegeverband (**Austria**)
- Nurses Association of the Commonwealth of the **Bahamas**
- **Bahrain** Nursing Society
- **Bangladesh** Nurses Association
- **Barbados** Nurses Association
- Fédération Nationale des Infirmières de Belgique (**Belgium**)
- Nurses Association of **Belize**
- **Bermuda** Nurses' Association
- Colegio de Enfermeras de **Bolivia**
- **Botswana** Nurses Union
- Conselho Federal de Enfermagem (**Brazil**)
- **Bulgarian** Association of Health Professionals in Nursing
- Association Professionnelle des Infirmiers/ères du **Burkina Faso**
- **Canadian** Nurses Association
- Colegio de Enfermeras de **Chile**
- **Chinese** Nursing Association
- Asociación Nacional de Enfermeras de **Colombia**
- Ordre National des Infirmiers de la RDC (**Democratic Republic of Congo**)
- **Cook Islands** Nurses Association
- Colegio de Enfermeras de **Costa Rica**
- **Croatian** Nurses Association
- Sociedad **Cubana** de Enfermería
- **Cyprus** Nurses and Midwives Association
- **Danish** Nurses' Organization
- Colegio Dominicano de Profesionales de Enfermería (**Dominican Republic**)
- **East Timor** Nurses Association
- Federación Ecuatoriana de Enfermeras/os (**Ecuador**)
- **Egyptian** Nurses Syndicate
- Asociación Nacional de Enfermeras de **El Salvador**
- **Eritrean** Nurses Association
- **Estonian** Nurses Union
- **Swaziland** Nurses Association (Eswatini)
- **Ethiopian** Nurses Association
- **Fiji** Nursing Association
- **Finnish** Nurses Association
- Association Nationale Française des Infirmiers et Infirmières Diplômés et Etudiants (**France**)
- National Association of **Gambia** Nurses & Midwives



- DBfk Bundesverband (**Germany**)
- **Ghana** Registered Nurses Association
- Hellenic Nurses Association (**Greece**)
- **Grenada** Nurses Association INC.
- Asociación **Guatemalteca** de Enfermeras Profesionales
- **Guyana** Nurses Association
- Association Nationale des Infirmières Licenciées d'**Haïti**
- Colegio de Profesionales de Enfermería de **Honduras**
- College of Nursing **Hong Kong**
- **Icelandic** Nurses Association
- **Indian** Nursing Council
- Persatuan Perawat Nasional **Indonesia**
- **Irish** Nurses and Midwives Organisation
- **Iranian** Nursing Organization
- National Association of Nurses in **Israel**
- National Council of Nursing Associations of **Italy**
- Nurses Association of **Jamaica**
- **Japanese** Nursing Association
- **Jordan** Nurses and Midwives Council
- National Nurses Association of **Kenya**
- **Korean** Nurses Association
- **Kuwait** Nursing Association
- Order of Nurses in **Lebanon**
- **Lesotho** Nurses Association
- **Liberia** Nurses Association
- **Lithuanian** Nurses Association
- Association Nationale des Infirmiers & Infirmières **Luxembourgeois**
- Nurses Association of **Macau**
- National Organisation of Nurses and Midwives of **Malawi**
- **Malaysian** Nurses Association
- **Malta** Union of Midwives & Nurses
- **Mauritius** Nursing Association
- Colegio Nacional de Enfermeras, A.C. (**Mexico**)
- Federación Mexicana de Colegios de Enfermería (**Mexico**)
- Association Nationale des Infirmières de **Monaco**
- **Mongolian** Nurses Association
- National Association of Nurses and Midwives of **Montenegro**
- Association Marocaine des Sciences Infirmières et Techniques Sanitaires (**Morocco**)
- Associação Nacional dos Enfermeiros de **Mozambique**
- **Myanmar** Nurses and Midwives Association
- **Namibian** Nurses Association
- Nursing Association of **Nepal**
- NU' 91 – **Netherlands**
- **New Zealand** Nurses' Organisation
- Asociación de Enfermeras **Nicaragüenses**
- National Association of **Nigeria** Nurses and Midwives
- **North Macedonian** Nurses and Midwives Association
- **Norwegian** Nurses Organisation
- **Oman** Nursing Association
- **Pakistan** Nurses Federation
- **Palestinian** Nursing and Midwifery Association
- Asociación Nacional de Enfermeras de **Panamá**
- Asociación **Paraguaya** de Enfermeras
- Colegio de enfermeros del **Perú**
- **Philippine** Nurses Association
- **Polish** Nurses Association
- Order of Nurses (**Portugal**)
- **Qatari** Nursing Association
- **Romanian** Nursing Association
- The Order of Nurses, Midwives and Medical Assistants in **Romania**
- **Russian** Nurses Association
- **Rwanda** Nurses and Midwives Association
- **Samoa** Registered Nurses Association, Inc

- Associação Nacional dos Enfermeiros y parteiros de **São Tomé e Príncipe**
- Saudi Nurses Association (**Saudi Arabia**)
- Association Nationale des Infirmiers et Infirmières d'Etat du **Sénégal**
- Association of Health Workers of **Serbia**
- Nurses Association of the Republic of **Seychelles**
- **Sierra Leone** Nurses Association
- **Singapore** Nurses' Association
- Nurses and Midwives Association of **Slovenia**
- **Solomon Islands** Nurses Association
- **Somaliland** Nursing and Midwifery Association
- Democratic Nursing Organization of **South Africa**
- **South Sudan** Nurses and Midwives Association
- Consejo General de Enfermería de España (**Spain**)
- **Sri Lanka** Nurses Association
- **St. Lucia** Nurses Association
- **St. Vincent & The Grenadines** Nurses Association
- **Suriname** Nurses Association
- Joint Virtual **Swedish** Nurse Organisation for International Work
- Association Suisse des Infirmières/Infirmiers (**Switzerland**)
- **Taiwan** Nurses Association
- **Tanzania** National Nurses' Association
- Nurses Association of **Thailand**
- Association nationale des infirmiers/ères du **Togo**
- **Tonga** Nurses Association
- **Trinidad & Tobago** Registered Nurses Association
- **Turkish** Nurses Association
- **Uganda** Nurses & Midwives Union
- Emirates Nursing Association (**UAE**)
- Queen's Nursing Institute (**UK**)
- American Nurses Association (**USA**)
- Colegio de Enfermeras del **Uruguay**
- **Zambia** Union of Nurses Organization
- **Zimbabwe** Nurses Association

## ICN提携専門団体

- 国際新生児看護学会
- 国際麻酔看護師連盟
- 国際手術看護師連盟
- 国際アディクション看護学会
- 国際がん看護学会
- NANDAインターナショナル
- シグマシータウインターナショナル
- 世界クリティカルケア看護師連盟

## ICN事務局

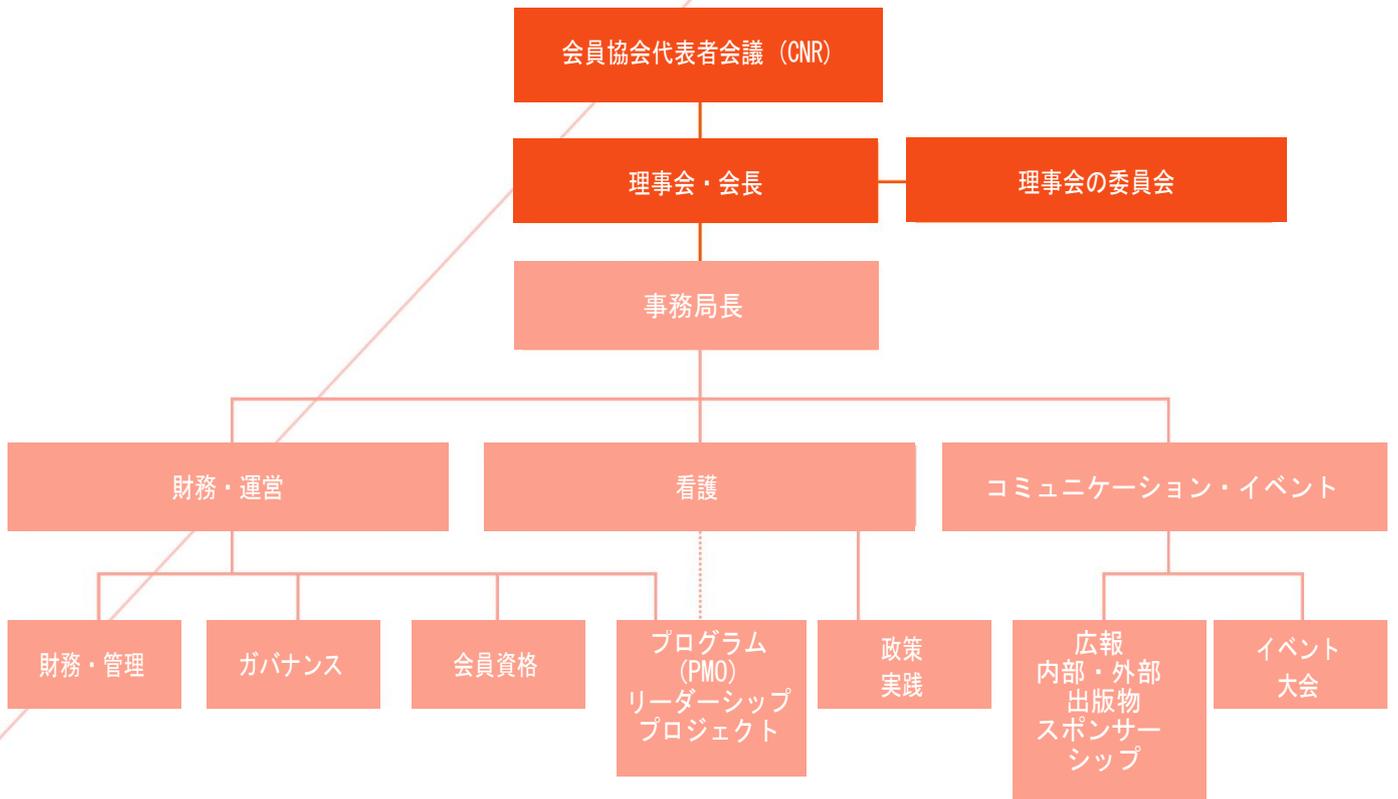
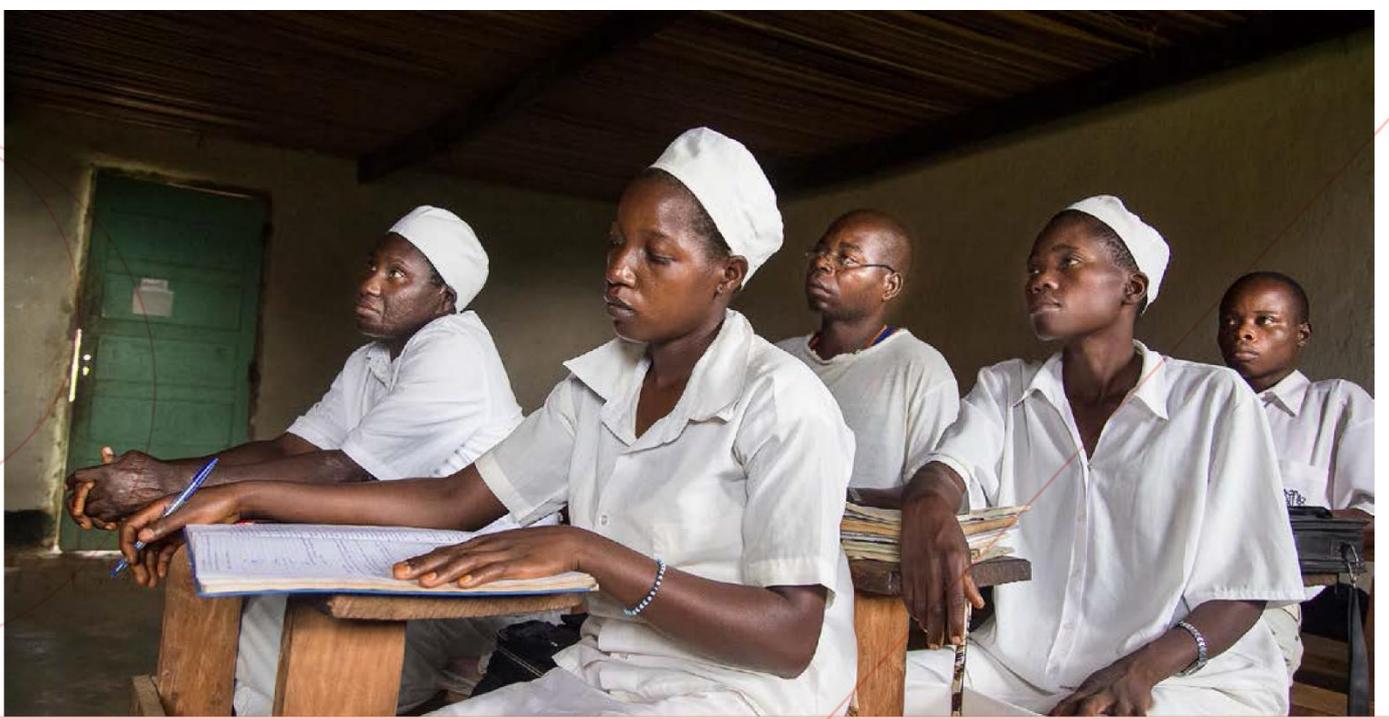
ジュネーブにあるICN本部には、ICN事務局長（CEO）であるハワード・カットンが率いる、小規模ながら専任のスタッフがいる。また、ジュネーブ事務局の外で働いているスタッフも数名いる。

2021年、ICNは初代主任看護師にミシェル・エイコーン博士を任命し、ICNの看護・保健医療政策活動の発展、ICNプログラムやプロジェクトの戦略的開発・実施を主導している。



# 130 以上

2021年にICN会員である各国看護師協会の数





## ICN 理事会

(2017-2021 年、2021-2025 年)

ICN は、ICN 投票地域に基づいて選出された理事によって統治される。理事会は、会員協会代表者会議 (CNR) の代理者として、CNR が構築した枠組みに沿った政策を実施する。

2017~2021 年理事会の任期は 2021 年に終了し、同年選挙が行われた。2021~2025 年の任期を務める新たな会長と理事会は、2021 年 11 月 4 日にその職務に就いた。

### 2017-2021 年

#### 役員

- 会長：アネット・ケネディ（アイルランド看護師・助産師協会）
- 第 1 副会長：パメラ・シプリアーノ（米国看護師協会）
- 第 2 副会長：シムベカ・グウアグウア（南アフリカ看護師協会）
- 第 3 副会長：サン・レイ・シン（大韓看護協会）

#### 理事

- ファティマ・アル・リファイ（アラブ首長国連邦看護協会）
- カレン・ビョーロ（ノルウェー看護協会）
- エリカ・カバジェロ（チリ看護協会）
- レン・ホア・ファン（台湾看護協会）
- マリア・ユーラリア・ユヴェ（スペイン看護協会）
- ロスヴィータ・コッホ（スイス看護協会）
- イオアニス・レオンチュウ（キプロス看護師・助産師協会）
- リサ・リトル（カナダ看護協会）
- ブリギタ・スケラ-サヴィッチ（スロベニア看護師・助産師協会）
- ウー・イン（中華護理学会）

### 2021-2025 年

#### 役員

- 会長  
パメラ・シプリアーノ（米国看護師協会）
- 第 1 副会長  
リサ・リトル（カナダ看護協会）
- 第 2 副会長  
カレン・ビョーロ（ノルウェー看護協会）
- 第 3 副会長  
レン・ホア・ファン（台湾看護協会）

#### 理事

- ファティマ・アル・リファイ（アラブ首長国連邦看護協会）
- ノラ・エロイザ・バラオーナ・デ・ペニャーテ（エルサルバドル看護協会）
- ナンサパーン・チンルンプラサート（タイ看護協会）
- ホセ・ルイス・コボス・セラーノ（スペイン看護協会）
- アンドレ・ジテンバガーラ（ルワンダ看護師・助産師協会）
- イヴ・メンガル（ベルギー看護協会）
- 手島恵（日本看護協会）
- アリシ・タラトカ・ヴディニアボラ（フィジー看護協会）

12 人

ICN 理事の人数（2021~2025 年）





# ICN 目標 1 : グローバルインパクト

ICN は、「すべての人に健康を (Health for All) 」を推進するため、世界および地域レベルでの健康・社会・教育・経済政策の策定と実施に対し、情報と影響を与えることを目指す。



## 世界の健康医療政策

### 国際医療従事者年

世界保健機関 (WHO) は、「**保護、投資、ともに**」というテーマの下、2021 年を国際医療従事者年に指定した。これは、健康、仕事、経済的機会および公平性における配当を共有するために保健医療従事者に投資することが急務であることを強調している。

ICN は、世界保健医療専門職連盟 (WHPA) を通じて、WHO のテドロス事務局長が議長を務める国際医療従事者年運営委員会に保健医療専門職の代表として参加した。同委員会は、その年の活動を推進し、特に 2021 年の最初の 100 日間で世界の保健医療従事者が新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) ワクチンの優先接種を受けられるよう働きかけ、加盟国、国際金融機関、二国間および慈善団体のパートナーから、SDGs の達成と COVID-19 からの回復を加速させるために保健医療従事者を保護し投資するというコミットメントを結集させる責任を担っている。

ICN は、年間を通じて保健医療従事者を称え、保健医療労働力の保護と投資を提唱する活動を行ってきた。2021 年 1 月の動画で、WHPA の職員と ICN アネット・ケネディ会長が目にしたのは、COVID-19 による保健医療従事者の許容できない感染者数と死亡者数だった。7 月、ICN ハワード・カットン事務局長は、3 部構成のウェビナーシリーズの一環として WHO 保健医療労働力部門が主催するオンラインイベントに参加した。また、ICN 大会では、同じタイトルのメインセッションで、このキャンペーンが紹介された。

看護師やその他の保健医療従事者を保護するための ICN の活動の詳細については、本報告書および 2021 年の COVID-19 に関する ICN の活動に関する **特別報告書** を参照いただきたい。

## 2021 YEAR OF THE HEALTH AND CARE WORKERS

PROTECT. INVEST. TOGETHER.

### 世界保健機関

1948 年の WHO 発足当初から、WHO との公式な関係は始まっており、公式ガイドラインの策定、政策策定、諮問グループ、その他活動で協力を続けている。特に WHO テドロス・アダノム・ゲブレイェソス事務局長やエリザベス・イロ主任看護官 (CNO) との関係は強く密接で、テドロス事務局長は看護の重要性を公式に認め、看護職の強化を公約にしている。2021 年も引き続き ICN は WHO との絆を強め、COVID-19 パンデミックの最前線で戦う看護労働力を支援・保護するために両組織が協力した。

テドロス博士を含む WHO の代表者は、11 月の ICN 大会で次のセッション等に積極的に参加した。グローバルヘルスの課題と看護師のグローバルヘルスの課題への貢献に関する基調セッション、国際医療従事者年、保健医療における回避可能な危害の排除における看護師の役割、看護と助産のグローバル戦略の方向性に関するメインセッション、保健医療環境における HIV 関連のスティグマと差別、COVID-19 ワクチンの支援における看護師の役割、水と衛生に関する WHO 活動に関するシンポジウム。



テドロス博士は、ICN アネット・ケネディ会長に、看護職に生涯にわたり貢献してきたとして、グローバルヘルスにおける卓越したリーダーシップに対して、荣誉あるグローバルヘルスリーダー事務局賞（Director General's Health Leaders Award）を贈呈した。

### 看護と助産のグローバル戦略の方向性

ICN は、新たな **WHO の「2021~2025 年 看護と助産のグローバル戦略の方向性 (SDNM) 」** の策定に積極的に参加し、同文書は 2021 年 5 月に発表された。1 月に、ICN は WHO と 2 つのウェビナーを主催し、SDNM について議論した。80 カ国以上から集まった約 400 人の看護師リーダーが、新しい SDNM の 4 つの幅広い政策の重点分野（雇用、基礎教育、リーダーシップ、実践）に含めることが重要だと考える取組みについて、意見を交換しました。ICN 理事会のメンバー数名も、それぞれの地域を代表して介入した。WHO はこのウェビナーからの情報を活用し、今後 4 年間の看護のグローバル戦略の構築に役立てた。

5 月、新しい SDNM が第 74 回世界保健総会で採択された。そこでは、少なくとも 600 万人の看護師が世界的に不足していること、看護の仕事・教育・リーダーシップ・実践への投資の必要性、パンデミックに直面した看護師の安全、WHO 加盟国すべてに政府レベルの主任看護官を設置することの重要性など、ICN が過去 18 カ月にわたってキャンペーンを行ってきた多くの課題が取り上げられた。ICN は各国に対し、できるだけ速やかに勧告内容を実施するよう求めた。

「このグローバル戦略はかつてないほどに重要になってきており、私たちはそれを実行し、行動を前に進めなければなりません。各国政府やすべてのステークホルダーがいま行動を起こさない限り、看護師の過度な労働、過少報酬、過小評価が続く現在の状況は継続され、我々全員にとって壊滅的な結果となる可能性があります。」

2017~2021 年 ICN 会長  
アネット・ケネディ

7 月に ICN は、東アフリカ、中央アフリカおよび南アフリカ (ECSA) における看護師教育や労働力の問題に対し、SDNM がどのような影響を与えるかについて、ウェビナーを主催した。このウェビナーは、ICN、世界銀行、ECSA 看護大学、Jhpiego が共同執筆した **報告書**「ECSA 看護師の教育と労働市場 (ECSA Education and Labor Markets for Nurses)」と SDNM との関連性について、看護師に注意を促すことを目的としたものである。看護教育、規制、データと分析、看護労働市場への投資方法に焦点を当てた報告書の提言を成功させるための重要な要素として、アフリカの異なる国や地域の看護師間の協力と連携が強調された。

政府レベルの主任看護官、NNA 会長、優秀なアカデミックナース、看護規制担当者という 4 部門のリーダーたちの協力が、真の変化をもたらし、非常に高いレベルで看護・保健医療政策に影響を及ぼす力があると期待されている。

ICN 大会では、WHO 保健労働力ディレクターのジム・キャンベル博士と WHO 看護・助産技術官のキャリー・マッカーシー博士が中心となって SDNM に関するメインセッションが開催された。

世界中の看護師と助産師が集まって取り組みや経験を共有したり、グローバルヘルスの課題に影響を与える様々な分野の専門家から学んだりするためのネットワークである、**WHO 看護・助産実践グローバルコミュニティ (WHO Nursing and Midwifery Global Community of Practice)** のウェブサイトで、リーダーシップや雇用、サービス提供、教育のための ICN のリソースが公開された。





## WHO 執行理事会および世界保健総会

WHO 執行理事会 (EB) の年次会議が 1 月に開催され、加盟各国は世界保健総会 (WHA) の議題と検討すべき決議案を承認した。WHO の意思決定機関である WHA には、WHO 加盟 194 か国の保健相・高官に加え、市民社会の代表や利害関係者が参加している。EB が作成した具体的な健康に関する議題に焦点を当てている。ICN は、こうした重要な会議で、看護の声を代表している。

第 148 回 WHO EB は、2021 年 1 月 18~26 日に開催された。ICN は、患者安全に関する世界的な対応、予防接種計画 2030、COVID-19 への対応、COVID-19 パンデミックに対するメンタルヘルスへの備えと対応について、声明を出した。

第 74 回 WHA は、「このパンデミックを終わらせ、次のパンデミックを予防する：より健康で、より安全で、より公正な世界を共に構築する」をテーマに掲げ、2021 年 5 月 24~31 日にオンラインで開催された。ICN は、NNA 会長、世界看護指導者機関の修了生、政府の主任看護官など、45 カ国以上の看護師リーダー 50 人以上がオンラインで代表団を務めた。また、ICN 看護学生運営グループのメンバーで構成される学生代表団も参加した。

ICN は、予防接種計画 2030、保健医療労働力、COVID-19 への対応、健康の社会的決定要因に関する WHA への声明を発表した。総会では新たな SDNM を採択し、WHO の人材戦略と COVID-19 関連業務について詳細に協議した。

開会の挨拶で、テドロス事務局長は COVID-19 によって 115,000 人もの保健医療従事者の死亡が推定されると報告した。パンデミックへの備え・対応のための独立パネル (IPPPR) は、「**COVID-19：最後のパンデミックに**」と題した主要報告書を発表した。ICN は、資金の不足している COVID に影響を受けた保健医療システムの保護には、具体的な行動と意欲的な財政的コミットメントが必要であることを示した今回の報告と、研究結果を歓迎した。

WHO 執行理事会および第 73 回世界保健総会における ICN の介入に関する詳細な報告書は、[こちら](#)から閲覧可能。WHA 74 のビデオ要約は[こちら](#)から、報告書全文は[こちら](#)から閲覧可能。

ICN は、11 月 29 日から 12 月 1 日にかけて開催された WHA 第 2 回特別セッションにおいても、WHO の健康危機への備えと対応の強化に関するワーキンググループの報告書を踏まえ、パンデミックへの備えと対応に関する条約、協定、その他の国際文書の起草と交渉のための政府間プロセスの確立を視野に入れて、それらの WHO 文書の開発の利点に関する 声明 を発表した。

# 115,000 人

2021 年 5 月までに COVID-19 によって死亡した保健医療従事者の数

「私たちは、すべての保健医療従事者を保護し、その権利を確保し、安全かつ権限を与えられた環境でのディーセント・ワークを提供する道義的責任があります。これにはワクチンへのアクセスも含まれます。私たちは回復・再構築するにあたり、緊急時の備えと対応への投資においては、看護師を含む保健医療従事者の教育と雇用を優先しなければなりません。」

WHO 事務局長  
テドロス・アダノム・ゲブレイェソス博士

## 国際連合

6月、ICNは国連に対し、パンデミック対策に関する宣言を起草し、国際的な保健医療の緊急事態への対応を監督する「Global Health Threats Council」を設置するよう要請した。ICNは、パンデミック対策・対応のための独立パネルの研究結果を支持し、国連事務総長のアントニオ・グテーレス氏に書簡を送り、保健医療従事者が二度と同様の犠牲を強いられることがないように、グローバルな対応の指揮をとるよう要請した。



## WHO 地域委員会会議

ICNは各地域委員会に参加し、それぞれ次の議題について介入を行なった。第71回 WHO 欧州地域委員会（9月13日～25日）：「COVID-19パンデミックへの対応：WHO 欧州地域からのこれまでの教訓」「ポスト COVID-19 時代におけるプライマリ・ヘルスケアの改革」「欧州予防接種計画 2030：明日のためのより良い健康づくり」。第73回 WHO アメリカ地域委員会（9月22日）：公衆衛生の発展を維持・保護するためのレジリエントな保健医療制度の構築と COVID-19 パンデミック後の回復のための戦略。第68回 WHO 東地中海地域委員会（10月11日）：保健医療の緊急事態の備えと対応の促進・行動計画。第72回西太平洋地域委員会（10月25～29日）：COVID-19。

「パンデミック発生以来、少なくとも 115,000 人の保健医療従事者が COVID-19 によって死亡していることが確認されており、1日あたり200人以上が亡くなっているということになります。これは連日、航空事故が起きていることに相当します。しかし、原因を解明し、保健医療従事者を保護し、さらなる死亡を防ぐための対策に役立つ詳細なデータ、つまりブラックボックス・フライトレコーダーを誰も探そうとしないのです。もし、このようなことが経済の他のセクターで起こっていたら、緊急対応や公式調査が行われ、人々の安全を第一に考えることが約束されたことでしょう」。

ICN 事務局長 ハワード・カットン

11月、ICNはグラスゴーで開催された国連気候変動会議 COP26 に参加し、WHO や世界気候保健連合（Global Climate and Health Alliance）とともに発言した（22ページ参照）。

11月に開催された ICN 大会では、国連人権高等弁務官のミシェル・バチエレ博士と、前国連事務総長の潘基文氏が基調講演を行った（ICN 大会については 37ページ参照）。



## 国際労働機関

4月27日、ICNと国際労働機関（ILO）は「COVID-19の影響：パンデミックによる世界の看護・保健医療従事者不足と雇用形態の変化」と題するウェビナーを主催した。この重要なディスカッションでは、ICNのコンセプトであり、教育部門の能力を高め、職を失った人が保健医療労働力に移行するのを支援することを目的とした、保健医療教育・再訓練機会（HERO）基金について紹介し、検討した。また、看護師を惹きつけ、維持するための教育、雇用、労働条件を定めたILO看護職員条約（C149）についても議論した。

ILOのガイ・ライダー事務局長は11月のICN大会で講演し、看護職への投資は重要だが、「より広範なディーセント・ワーク不足に対処するための施策と同調して取り組む必要がある」と述べた。

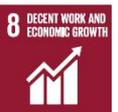
「保健医療システムにレジリエンスを構築することは、保健医療従事者の研修や給与、条件に投資することを意味します。つまり、職場での基本的な権利を尊重することを意味しているのです。ILOは皆さんとともに、看護師のディーセント・ワークに対する権利を強化し、支援することを誇りに思います。」

ILO事務局長 ガイ・ライダー

## 世界保健医療専門職同盟

**世界保健医療専門職同盟（World Health Professions Alliance：WHPA）**は、ICNと国際薬剤師・薬学連合、世界理学療法連盟、世界歯科連盟、世界医師会で構成される同盟である。WHPAは費用対効果と質の高い保健医療の全世界への提供に向けて、世界的な健康課題に取り組んでいる。WHPAのパートナーは世界各国の600以上の組織に及び、WHPAはこの5分野の保健医療専門職にとって、世界に向けた重要なアクセスポイントとなっている。

WHPAは、WHO保健医療従事者年運営委員会に保健医療専門職を代表して参加した（13ページ参照）。3月、WHPAは、すべての最前線の労働者に対するワクチンの公平性の促進を求め、保健医療専門職にWHOワクチン公平分配宣言（WHO Vaccine Equity Declaration）に署名するよう呼びかけた。



5月、ICN ハワード・カットン事務局長は、働きやすい実践環境のための決起キャンペーンの一環として「COVID-19：職業病か？」と題したWHPA ウェビナーに参加した。ウェビナーでは、保健医療従事者の健康とウェルビーイングを守り、予測される人材不足の回避に役立つ働きやすい実践環境の重要性について議論した。COVID-19を職業病として認識することで、死亡や感染に関する報告、より良いリスク評価、基準の設定、COVID-19によって死亡または影響を受けた人への補償につながり、保健医療専門職が正当にサポートされることの必要性に焦点を当てた。

6月、Howard Cotton事務局長はICNを代表して、WHPAの代表者とともに、「ワクチンへのアクセスと接種率の向上に向けた協力」討論会に参加した。このイベントでは、他の保健医療専門家、公衆衛生機関、外部機関、患者代表団体との、ワクチン接種における専門職間および機関間の連携に焦点を当て、ワクチン接種率向上のための世界的な支援およびキャンペーンの創設と開発、その影響について紹介した。

IPPPRによる報告書の発表（15ページ参照）を受け、WHPAはその研究結果および具体的な行動を支持すると発表した。また、政策立案者や規制当局、専門機関、保健医療施設、コミュニティに対し、働きやすい実践環境のために行動を起こすよう求め、すべての国に対し、COVID-19を職業病として分類・治療するよう呼びかけた。

12月、WHPAは新たな興味深い取り組みである**現場からの声**を立ち上げた。このインタビューシリーズでは、現場の保健医療専門職から実例を集め、彼らの仕事が認知され、支援を受けられるよう、保健医療専門職を紹介している。

## G7 と G20

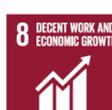
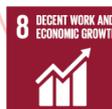
7カ国首脳会議（G7）と20カ国・地域首脳会議（G20）は非公式なガバナンスクラブであり、国家首脳会議を毎年開催し、世界的に重要な課題について議論する。WHOが5月に、COVID-19によって115,000人の保健医療従事者が死亡したと発表したことを受け、6月11日から13日にかけて開催された第47回G7首脳会議を前に、ICNはG7首脳に対し、看護師を新しいパンデミック条約の中核に据えるよう書簡で呼びかけた。ICNは、保健医療従事者のこの悲劇的な死者数の重大さは、G7首脳による迅速かつ劇的な行動を必要としていると述べた。

10月、ICNは、10月30日～31日にローマで開催されたG20に対し、COVID-19パンデミックの被害から必要不可欠な看護職や保健医療スタッフを守るために、最終的に強力な行動を起こすよう呼びかけた。この呼びかけは、WHOがCOVID-19による保健医療従事者の死者数を18万人に更新したことを受けたものである。ICNは、これは控えめな推定だと考えていると述べた。世界の多くの地域では、未だにワクチン未接種で、適切な個人防護具（PPE）を使用せずに働かざるを得ない看護師がいる中、ICNは看護師を守るための協調的行動を求めた。

## Nursing Now グループ

2018年に立ち上げられたNursing Nowは、看護の地位と認知度を高めるための世界的キャンペーンであり、2021年6月に終了した。ICNは、Nursing Nowグループを通じて、このキャンペーンのレガシーを継承している。Nursing Nowは、バーデット看護信託のプログラムであるNursing Nowチャレンジとして継続されている。このプログラムは2022年末までに150カ国以上の10万人の看護師と助産師のリーダーシップ開発機会を創出することを目的としている。

ICNは2月に2つのウェビナーを開催し、Nursing Nowキャンペーンの一環として、世界中のNursing Nowグループとともに、各グループの推進力と努力に基づき、今後の計画について話し合った。また、ICNは年間を通してNursing Nowのウェビナーにも参加した。ウェビナーでは、以下のようなテーマが取り上げられた。Nursing Nowの#NursesTogetherキャンペーンを立ち上げに向けた「影響力とアドボカシー：看護の未来を形作る」。看護師のリーダーシップを促進し、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジを達成するために、なぜそれらが不可欠であるかを検証する「ジェンダー平等、ディーセント・ワークと看護」。看護師の移動に関する世界的な傾向を探り、移動する看護師の経験と、それが彼らの知識とスキルを十分に発揮して実践する能力にどのような影響を与えるかを考察する「看護師の移動の重要性」、「危機における看護と助産」。



# 180,000 人

2021年10月までにCOVID-19によって死亡した保健医療従事者の数



5月24日、Nursing Now、ICN および WHO は、3年間のキャンペーンを締めくくるとともにグローバルフットプリントのイベントを開催した。西太平洋地域で始まったこのイベントは、Nursing Now キャンペーンで学んだ経験や教訓を振り返りながら、Nursing Now グループとナイチンゲール・チャレンジプログラムが主導する6つの地域セッションを開催するため、世界中を回った。

6月に、ICN アネット・ケネディ会長は、アイルランド国立外科医学院（RCSI）医療機関グループのためのナイチンゲール・チャレンジで、「ICN のグローバルリーダーシップ、看護の世界的な声」と題した討論会を主導した。ハワード・カットン事務局長は、カタール保健省の世界技術革新サミット、Nursing Now チャレンジ、そしてBMJとの共催で開催された「変化の最前線にある看護師—現状に挑む」と題するイベントに介入した。このイベントは「世界的な気候変動対策における看護師の重要な役割、看護職はデジタル化された未来にどのように適応するのか」、そして「健康の公平性のための看護師」という報告書の発表に際して行われた。ICN ミシェル・エイコーン主任看護師は、11月に開かれたアンティオキア Nursing Now（コロンビア）のイベントに参加し、看護リーダーシップについてライブで発表した。

ICN は12月に、WHO SDNMにおいて最も差し迫った優先的な政策と各国で起こっていることについて、Nursing Now グループの簡易調査を実施した。ICN は、世界各国の Nursing Now グループの貢献をこれからも重視する。

## 世界的な健康問題

### COVID-19

ICN の COVID-19 パンデミックに対する取組みは非常に広範にわたり、この報告書にすべてを収載することはできない。別途、報告をこちらから閲覧可能。本項では、ICN が作成した COVID に関する主要な出版物に限定して取り上げる。

2021年の初めに、ICN は COVID-19 パンデミックによる看護師の集団トラウマに関する新たな報告を発表した。ICN による NNA 調査の結果を詳述し、感染者数や死亡者数、ストレス、バーンアウト、専門職からの大量離職の警鐘に関するデータを収載している。調査の結果、増え続ける仕事量や、継続的な酷使、ワクチン接種反対派による抗議活動などに直面することで、過重労働を強いられているスタッフの心理的苦痛が増していることが明らかになった。ICN は、各国政府が COVID-19 の影響に対処する措置を今講じなければ、パンデミックが次世代を担う看護職を損なうリスクがあると警告した。さらに、ICN は2つのファクトシートを発表した。1つは「看護師や他の保健医療従事者における COVID-19 の感染と死亡」、もう1つは「看護職におけるストレスとバーンアウト」に関するものである。

WHO が世界的な COVID-19 パンデミックを宣言してから1年が経った2021年3月に、ICN は2020年の COVID に関する取組みについてオンライン発表を行った。報告書は、この異例の年を月ごとに記録したもので、この重要な時期にジェンダー不平等や看護師への投資の欠如があったことを明らかにしている。COVID についての ICN の取組みに関する2021年の報告書は、こちらから閲覧可能。また、ICN は、世界的な看護師不足と看護師の定着に関する報告書とファクトシートを発表し、NNA の90%が、パンデミックへの対応に関連する仕事量の多さ、リソースの不足、バーンアウト、ストレスの多さが、離職する看護師の増加につながったことを、多少または極めて懸念していると報告した。





継続する看護師不足、看護労働力の高齢化、および増加する COVID の影響により、ICN は、今後の世界の看護師不足を補うためには、4月には、最大1300万人の看護師が必要になると推定した。COVID-19 パンデミックにおける看護教育と新たな看護労働力についての詳細な報告書とファクトシートが発表された。

COVID-19 パンデミックに対する ICN の取組みの詳細については、「ワクチンの公平性」の項（28ページ）を参照。

「看護師が受けている負担は容認できないものであり、多くの看護師がプレッシャーを感じ、自分が好きな仕事を続けることができないと決断したとしても、驚くことではありません。熱心で経験豊富な看護師がキャリアを終わらせようとするとき、それは何か重大な問題があることを明確に示しているのです。看護師の仕事量が多すぎたり、正當に評価されていない場合、彼らに仕事を続けていくことを期待することはできないのです。看護師の皆さんの仕事は、昨年、本来求められている職務をはるかに越えていました。各国政府は今、看護師が患者や家族、コミュニティのために重要な仕事を行う上で必要な支援を提供し、彼らの献身とコミットメントに報いる必要があります。」

2017～2021年 ICN 会長  
アネット・ケネディ

## 非感染性疾患

非感染性疾患（NCDs）は地球上で最大の死因であるが、適切に生活習慣を改めれば、これらの疾患はすべて治療可能であり、予防することも可能である。看護師は、人々が長く幸せで健康的な生活を楽しむことができるよう、生活を調整する手助けをするという重要な役割を担っている。

2021年を通じて、ICNは、以下を含むNCDsに関するいくつかのハイレベルの国際会議に参加した。総合的なNCDサービスを強化するためのコンピテンシーに基づく能力開発の主要分野を探ることを目的とした、WHO 戦略円卓会議「NCDs に対応できる労働力の構築」。世界心臓連合による「今こそ肥満に取り組む」と題した第6回循環器系の健康に関するグローバルサミットでは、ICNが、CVDと肥満の関連性に対処する保健医療労働力の強化について取り上げた。第9回WHO たばこ規制枠組み条約締約国会議では、ICNが枠組みの実施における世界的な進捗について、**ビデオ声明**を発表した。ICN大会では、NCDsなどの重大な健康・社会問題への取り組みにおける看護の役割を検討するメインセッションが開催された。



# 90%

COVID の影響により看護師が離職することに懸念を示した NNAs の割合



## 患者安全

看護師にとって、安全で質の高い患者ケアを提供することは最も重要である。看護はあらゆる領域に及ぶケアを提供するため、看護師は患者に及ぶ危害を防止し、あらゆる状況で提供される保健医療の質と安全性を向上させるのにふさわしい立場にいる。そのため、看護師はすべての保健医療機関の患者安全システムとプロセスの設計と運用の中心的存在であるべきである。

3月18日、G20保健開発パートナーシップとRLDatixは、「見落とされたパンデミック - 患者安全を変え、保健医療システムを救うには」と題した新しい報告書を発表し、これにはICN アネット・ケネディ会長の寄稿も掲載されている。「患者安全啓発週間」のパーティイベントの一環として、ケネディ会長はパネルに登壇し、報告書を発表した。

8月に、ICNはWHOのグローバル諮問「行動を起こすパートナーたち：世界患者安全行動計画 2021~2030の実施に向けた関係者の参画」に参加し、世界患者安全行動計画の実施に向けた行動について議論し、優先活動を特定し、それぞれの活動パートナーへの提言を策定した。

9月、ICNは国際新生児看護師協会と共同声明を発表して「世界患者安全の日」の推進に参加した。看護労働力が安全で丁寧なケアを提供し、母親と新生児への回避可能な危害を減らすことができるよう、すべての関係者に対し持続可能な行動をとるよう呼びかけた。

## メンタルヘルス

ICNは、メンタルヘルスを扱う時に、保健医療労働力がケアとアドボカシー、リーダーシップに果たす役割が十分認識されていないことを憂慮している。また、メンタルヘルスに関連する政策・戦略・法規の策定において、消費者やコミュニティが不在であることも懸念している。パーソンセンタード・ケアやコミュニティの関与は、将来の実施計画において最前線かつ中心に置かれなければならない。

ICNは、以下を含むメンタルヘルスをテーマとしたウェビナーや会議に参加した。世界セルフケア連盟とHealth Policy Watchが主催した「COVID-19と最前線の労働者」と題したウェビナーでは、ICN ミシェル・エイコーン主任看護師がメンタルヘルスについて講演した。アテネで開かれたWHO欧州地域メンタルヘルス会議では、ICN ハワード・カットン事務局長が、保健医療労働力のメンタルヘルスとウェルビーイングについて講演し、この問題への取り組みと説明責任の進展における看護師協会の役割などについて述べた。WHPAのウェビナー「保健医療従事者のメンタルヘルスを守る」。USAID、WHO、UNPFのオンラインフォーラム「沈黙の負担に声を上げる：母親のメンタルヘルスに関する技術相談」。

10月8日の世界メンタルヘルスデーに、ICNはパンデミックの渦中にある看護師のメンタルヘルスを守るよう改めて呼びかけ、世界中で利用できるメンタルヘルスに関するリソースの概要を示したWHOメンタルヘルス・アトラス2020を紹介した。この報告書によると、世界的に、看護師はメンタルヘルスの労働力の44%を占めており、西太平洋など一部の地域では、68%にも達している。

2021年、ICNは国際的な精神看護分野における看護労働力の調査を実施した。調査結果は、2022年に発表されるメンタルヘルス看護ガイドラインの作成に活用される。

## 気候変動

気候と健康に関する行動は、ICNの優先課題である。ICNは過去数年にわたり、気候変動と健康の分野の取り組みを主導している世界のパートナーと協働し、気候変動の緩和と適応における保健医療セクターと看護コミュニティの参画を増やす取り組みを行なっている。

9月6日、ICNのインターナショナル・ナーシング・レビューは、世界の200以上の主要な保健ジャーナルとともに、世界の平均気温の上昇を1.5°C以下に抑え、自然破壊を食い止め、健康を守るための緊急行動を求めた。10月、ICNはWHOの新しい「気候変動と健康に関するCOP26特別報告書」を支持し、世界中の人々の健康に壊滅的な影響を与える気候危機を回避するべく、直ちに行動を起こすよう世界各国政府に呼びかけた。ICNは、197の政府指導者と各国代表団に宛てた公開書簡に署名し、気候危機は人類が直面する唯一最大の健康上の脅威であると警告し、世界の指導者に気候変動対策を実現するよう呼びかけた。





「パンデミックなのか、気候変動の影響なのかにかかわらず、人々の健康は深刻な影響を被っている。看護師は、この世界的に拡大する危機とそれが引き起こす苦しみを目の当たりにしており、もはや黙っていることはできません。パンデミックは非常に多くの病気や死を引き起こしていますが、今措置を講じない限り、その影響は気候変動の影響の陰に隠れてしまうことでしょう」

ICN 事務局長 ハワード・カットン

11 月、ICN はグラスゴーで開催された国連気候変動枠組条約第 26 回締約国会議（COP26）に参加し、COP26 WHO ヘルスパビリオンプログラムの一環として、健全な環境のための看護師連合と共同でイベントを主催した。COP26 宣言が発表される直前、ICN は**声明**を出し、宣言が実現されなければ、保健医療従事者はその結果に対処しなければならなくなると警告した。

ICN は、11 月 15 日に開催された WHO の「健康のための気候変動」に関するウェビナーに参加した。これは、COP26 を背景に、「健康のための気候変動」という国際課題への看護・助産の関与や取り組みに関する関心、議論、考察を促すことを目的として開催された。

### ジェンダー平等

COVID-19 パンデミックによって、不平等な給与、保育サービスへのアクセスの不足、家庭内虐待の増加、仕事量の不平等、ジェンダーバイアスに至るまで、継続的なジェンダー不平等が露呈している。2021 年、ICN はこうした問題の多くに注目した。

2021 年、ICN はジェンダーと健康に関するいくつかのハイレベルな議論に参加した。その中には、ICN アネット・ケネディ会長を含む、Women in Global Health の「世界の卓越した女性看護師・助産師 100 人以上」リストの発表記念ウェビナーや、第 65 回女性の地位委員会の一環としてシグマシータタウ・インターナショナルが主催した「**看護師が主導する：ジェンダーに対応したグローバルヘルスの構築**」と題したオンラインサイドイベントなどがあった。ICN は**声明**を発表し、各国政府に対し、主任看護官を任命する措置を直ちにとるよう要請した。ICN アネット・ケネディ会長は、6 月に行われた「女性のリーダーシップと国連女性戦略計画 2022-2025」に関する協議に参加し、ICN 事務局長は、政治行動文書「**リーダーシップのギャップを埋める：世界の保健医療労働力におけるジェンダー平等とリーダーシップ**」の発表イベントでジェンダーとリーダーシップについて講演した。



保健医療分野における女性リーダーシップの現状を調査し、よりジェンダー平等で代表的なリーダーシップを確実にするための実現可能な政策介入が存在することを確認したこの行動文書に対し、事務局長はICNの確固たる支持を表明した。

2021年11月に開催されたICN大会では、「ジェンダー平等と女性の地位向上：すべての人の生活をより良いものにする」というパネルセッションで、ジェンダー平等が最重要視された。国連人権高等弁務官のミシェル・バチエレ博士、Women in Global Healthのエグゼクティブディレクター兼共同創設者のRoopa Dhatt博士、シリア野党連合国連代表兼シリア女性政治運動の共同創設者Mariam Jalabi氏、南アフリカ西ケープ保健大臣のNomafrench Mbombo博士が、参加者を前に講演を行った。

「看護師は今なお多くの課題に直面しています。これは、女性が看護労働力の大半を占めていることから、非常にジェンダーに基づいた現実であることが分かっています。また、保健医療におけるあなたの重要性にもかかわらず、看護師の給与は低いことが多く、軽視され、あなたの意見やニーズ、権利が無視されています。

保健医療従事者に人権擁護者として権限を与えることで、患者のケアにおいて起こる人権侵害を防ぐことができます。また、保健医療従事者の権利を促進・保護し、力の非対称性を軽減し、適正な労働条件の実現に貢献し、尊重される風土を築くことができます。」

国連人権高等弁務官 ミシェル・バチエレ  
ICN大会での講演

## 女子教育基金™

ICNおよびフローレンス・ナイチンゲール国際基金による女子教育基金（[Girl Child Education Fund : GCEF](#)）は、発展途上国において、看護師の遺児である18歳未満の女子の初等・中等教育を支援している。この基金により、これまでにケニア、レソト、スワジランド、ウガンダの400人以上の孤児の女子が教育を修了することができた。その多くが今度はコミュニティのリーダーとなり、他の女子の強化やエンパワメントを助けている。親にならって看護師になった者もいる。

2021年には77人の少女が基金の支援を受けた。4月には、パンデミックで学校が閉鎖されていた女子の多くが復学した。GCEFプロジェクトから提供されたラジオ、テレビ、スマートフォンを使用して、遠隔地から学習を補完することができた女子もいた。

11月のICN大会では、4カ国のNNAsが自分たちの活動や経験、証言を発表し、GCEFへの寄付を通じて、亡くなった看護師の娘に対する継続的な支援の必要性を啓発するセッションを開催した。

## 2021年国際看護師の日

「国際看護師の日（IND）」は、フローレンス・ナイチンゲールの生誕を記念して毎年5月12日に世界各地で祝われる。ICNは、国際看護師の日のリソースとエビデンスの提示・普及を通じ、毎年この重要な一日を祝賀している。

2月、ICNは国際看護師の日までの100日間のカウントダウンを開始し、第1回IND2021フォトコンテストの4部門の受賞者を発表した。最優秀賞はイスラエルのBruno Lavi氏に授与され、マスクとフェイスシールドを身につけた看護師Rawan Hijana氏の美しい白黒写真が、パンデミックの現実を見事に表現していた。

5月12日、ICNは**看護師：主導する声ー将来に向けた保健医療ビジョン**と題したIND報告書を発表した。この報告書では、看護師に対し、単なるケアの提供者ではなく、将来の保健医療システムの構築者や設計者になることを求めている。また、看護師が保健医療サービスを成功させる上で重要な役割を果たしていることが示されており、すべての保健医療機関や政府を含むすべてのレベルにおいて看護師リーダーの関与を拡大することを主張している。ICNは特別ウェビナーも主催し、73カ国から1,300人以上の看護師が参加した。ICN会長は、世界経済フォーラムのハイレベルパネルに参加し、COVIDパンデミックにおける保健医療従事者の重要な役割について講演した。



## 看護師 主導する声

将来に向けた保健医療ビジョン



# 285人

GCEFのおかげで高校を卒業することができた  
孤児の少女の数



## ICN 目標 2 : 会員のエンパワメント

ICN は、ICN 活動の 3 つの柱に沿って NNAs を強化し、NNAs が地域および国レベルで重要な課題に取り組む力をつけることを目指している。2021 年、ICN は 2 つの新しい会員協会、カタール看護協会（QNA）および英国のクイーンズ・ナーシング協会（QNI）を ICN の仲間を迎え入れた。

### 表彰

2021 年に、数名の ICN リーダーが保健医療に多大な貢献をしたとして表彰された。ICN アネット・ケネディ会長は、11 月に開催された ICN 大会において、看護職への生涯の貢献が認められ、WHO のテドロス事務局長からグローバルヘルスにおける卓越したリーダーシップに対する名誉ある「事務局長ヘルスリーダー賞」を受賞した。また、世界的な看護労働力のリーダーシップが認められ、ダブリンシティ大学から名誉博士号を授与された。パメラ・シブリアーノ第 1 副会長は、*Healthcare Global* が選ぶ「2021 年保健医療の女性トップ 10」の 2 位に選出された。ICN ハワード・カットン事務局長は、COVID-19 パンデミック時の看護界への多大な貢献が認められ、国際ロータリークラブからポール・ハリス・フェローの認証を授与された。ICN ミシェル・エイコーン主任看護師は、アメリカ看護アカデミーのフェローに選出された。レバノン看護師協会の前会長である Myrna Abi Abdallah Doumit 博士は、2020 年 8 月にベイルートで起こった恐ろしい爆発に続く数週間から数カ月間において、さらには COVID-19 パンデミックの最中、レバノンの看護師を率いたリーダーシップが認められ、2021 年 Women in Global Health の保健医療ヒロイン賞を受賞した。

ICN は、ICN 大会および会員協会代表者会議において、優れた業績を称え自発性と才能を奨励する賞を授与した。





台湾看護師協会（TWNA）とエルサルバドル看護師協会（ANES）は、NNA および看護職の包括性、多様性、創造性を高めるための革新的で成功した戦略に対して、**ICN 会員の包括性/代表性賞**を受賞した。TWNA は、ICN 世界看護指導者機関、TWNA ナイチンゲール看護指導者機関、および ICN リーダーシップ・フォー・チェンジの3つの看護リーダーシップ・プログラムにおける受講者の選出と経済的支援が称えられ、受賞した。ANES は、エルサルバドルの革新的で包括的なプロジェクトである「看護職の専門化と資格認定によるコンピテンシーとスキルの向上プログラム」の実施が称えられ、受賞した。

**クリスチャン・レイマン賞**は、優れた看護の業績を認め、看護の最も権威のある国際的な賞として世界中で知られている。この賞は、台湾看護師協会会長および ICN 理事会メンバーを務めた優秀な看護師リーダーである Sheuan Lee 博士に授与された。Lee 博士は 2008 年に、公務員の試験を監督する考試院の無任所大臣に任命された。

**ICN 保健・人権賞**は、保健と人権の領域において、非常に重要な人道的貢献と功績を納めた人物を称える賞である。2021 年には、非常に早い段階から保健医療が人権の一部であることの重要性を認識し、先見性を発揮した Nursing Now の共同議長であるナイジェル・クリスプ卿に授与された。

**モーイム・キム政策革新・影響賞**は、情報システム政策や看護ケアに関わる形式知の表現に参照されるオントロジー参照モデルの開発に貢献したとして、Abel Avelino de Paiva e Silva 教授に贈られた。

**開発パートナー賞**は、看護および保健医療における能力開発に優れたリーダーシップを発揮し投資した財団、企業、NGO、またはグループを表彰するもので、ICN への強力な支援と認定グローバル・ナース・コンサルタント（CGNC）プログラム（35 ページ参照）を立ち上げた CGFNS インターナショナルが選ばれた。

**ICN とフローレンス・ナイチンゲール国際基金の国際アチーブメント・アワード**は、韓国のソロク島でハンセン病患者の治療に生涯を捧げた Marianne Stoeger 氏と Margaret Pissar 氏の 2 人のオーストリア人看護師に授与された。

## 看護学生

ICN 看護学生運営グループ (NSSG) は、ICN における学生の参画とグローバルな看護政策における活動を支援するために設立された。ICN 各地域から 1 名の学生が代表を務め、2021 年の主な活動としては、学生大会の企画支援、世界保健総会への参加、各地域の NNAs との連携による学生参画支援、ICN における今後の学生参画の方向性の提示などが挙げられた。

ICN 看護学生大会は 10 月 23 日にオンラインで開催され、世界中の看護学生約 500 名が集結した。2 年に 1 度行われるこの大会は、看護学生やキャリアの初期段階にある看護師が発言できる場を提供し、ICN を通じて看護の未来に貢献し、影響を与えるフォーラムを提供することを目的としている。本大会は学生を対象に、学生が運営しており、今年は 18 カ国から 20 人の学生が発表した。COVID-19 パンデミック時に看護学生がどのように対処したのか、メンタルヘルス問題、現在そして将来のリーダーとしての役割など、キャリア初期の看護師にとって極めて重要なトピックが幅広く取り上げられた。

## 看護労働力の強化と保護

### 看護労働力の課題への対応

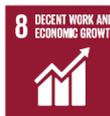
2021 年、ICN は、「世界の看護労働力が経験した集団トラウマ」、「看護師やその他の保健医療従事者の COVID-19 感染者数と死亡者数」、「看護職のストレスとバーンアウト」、「世界的な看護師不足と看護師の定着」など、さまざまなトピックに関する報告書とファクトシートを作成した。

2020 年に発表された ICN・CGFNS・ICNM の政策概要「上手に年を重ねるには？高齢看護師の就労を支援する政策」を受け、2021 年 5 月に「高齢化する看護労働力～アセスメントから実施まで～看護師を維持するための 10 のステップ」と題したウェビナーを開催した。2030 年までに世界で最大 470 万人の看護師が退職すると予想されており、この政策概要は、WHO「世界の看護」報告書に基づき、高齢の看護師を職場に留めるために採用すべき政策と戦略について詳述したものである。

### 教育

ICN は、看護教育に関するファクトシートと政策概要「COVID-19 パンデミックにおける看護教育と新たな看護労働力」を発表した。この中で、2020 年 12 月に ICN が NNAs を対象に行った調査の結果、73%の NNAs が学部看護教育に、54%が大学院教育に混乱があったと報告している。この概要では、専門職としての機会と課題についても提示した。

6 月に ICN、世界銀行、ECSACON、Jhpiego は「東・中・南部アフリカ (ECSA) 地域における看護師の教育と労働市場」に関する報告書を発表し、ECSA 地域における既存のニーズに対応した看護教育への投資の重要性を改めて指摘するとともに、有効な政策決定には情報システムが重要であることを強調した。この発表に続き、7 月には ICN 主催のウェビナー「看護教育と労働力～ECSA 地域における戦略的方向性の実行」が開催され、ECSA 地域の NNAs や Nursing Now グループとの協力関係を構築し、WHO の SDNM に関する国や地域の優先事項を実施する戦略を検討することが示された。



# 73%

学部看護教育に混乱があったと NNAs が報告した割合

## 暴力

保健医療従事者に対する暴力は今に始まったことではないが、COVID-19 パンデミックにより、保健医療専門職や保健医療提供者に対する暴力事件の発生が深刻化しているように見える。

3月、ICNは紛争下における保健医療保護連合（SHCC）運営委員会の他のメンバーとともに、COVID-19 パンデミック時の保健医療従事者、サービス、インフラに対する暴力について議論するウェビナーを共同開催した。Insecurity Insight社のインタラクティブ・マップを立ち上げると、2020年に報告された保健医療に対する暴力や脅迫の報告1,172件が表示される。そのうち412件はCOVID-19パンデミックとその対応策に直接関連するものであった。SHCCの創設メンバーであるICNは、この活動に大きく貢献した。

5月、SHCCは第8回年次報告書を発表し、世界中の保健医療従事者、施設および輸送手段に対する攻撃と脅迫の世界的な発生状況を記録した。ICNが寄稿したこの報告書では、2020年に戦争や暴力的紛争が続いている43の国や地域で、保健医療に対する暴力や妨害行為が806件発生したことを挙げている。

ICNは、赤十字国際委員会（ICRC）や他のパートナー団体と緊密に連携し、武力紛争などの緊急時における保健医療の保護を促進する「危機に立つ医療（HCiD）プロジェクト」を実施している。関連する委員会の一員として、ICNは2021年2月に開催されたユーラシア地域イベントに参加し、COVID-19が看護師にもたらした影響の概要と、看護の観点から見た保健医療に対する暴力の実態について発表した。

保健医療従事者に対する暴力の問題は、11月に開催されたICN大会のパートナーシンポジウムセッション「保健医療に対する暴力の現実を変えるべく、団結力を新たに、看護師に力を与える」において取り上げられた。このシンポジウムには、ICRC、MSF、SHCCなどさまざまな関係者が集まり、イニシアチブを取り上げ、看護師を議論に参加させ、看護師特有の意見、リーダーシップ、アドボカシーの役割を浮き彫りにした。特に、コミュニティから政策立案者や国家レベルにまで、保健医療の保護を促進するために、こうした声をどのように増幅し、力を与えることができるかを取り上げた。

「コミュニティがこれまで以上に保健医療従事者を必要としている最中、彼らは大きな危険にさらされているのです。最前線で重要な仕事をこなしながら、暴力や虐待を恐れているという現状は、全くもって容認できるものではなく、彼らが経験している集団トラウマに拍車をかけているのです。政府やすべての利害関係者は、こうした暴力を阻止するために自らの役割を果たし、今すぐ行動を起こす必要があります。保健医療従事者のCOVID-19感染率と同様に、あらゆる脅威や暴力に関するデータを入手することが必要です。こうしたデータなしには、暴力を防止する効果的な戦略を立てることはできません。」

ICN 事務局長 ハワード・カットン

## ワクチンの公平性

1月、ICNは看護師がCOVID-19のワクチン接種を早期に受けられるよう再度要請した。ICNは、国際高齢者団体連盟が主催する「ワクチン政策を変えるための患者グループの動員」に関する専門家会議にも参加し、リスクを抱える人々のワクチン接種率の低さに対する政策上の問題や行動戦略をどう位置づけるのがベストか、議論に貢献した。ICNは、ワクチン接種プログラムにおける看護師の関与の重要な役割を強調した。

2月、ICNはWHOの「ワクチン公平分配宣言」への支持を表明し、ワクチンの世界展開の遅れは破滅的な事態を招く可能性があるかと警告した。ICNは、世界54カ国のNNAsを対象とした最新の調査により、高所得国と低所得国の間に著しい格差があること、またワクチン接種プログラムに地域差があり、同ウイルスの新たな変異株の蔓延を助長する危険性があることを明らかにしと発表した。ICN事務局長は、世界公衆衛生協会連盟が主催する「COVID-19 ワクチンと公平性」に関する会議に参加し、知識の交流を可能にし、COVID-19 予防接種への公平なアプローチに向けた共同提唱活動の可能性を定義し、COVID-19 ワクチンの信頼性を強化した。また、WHO 欧州地域の非国家主体によるコンソーシアムとの「欧州予防接種計画 2030」に関する協議会にも出席した。この会議では、COVID-19 ワクチン接種によって今後10年間の予防接種に関する取り組みがどのように展開するのかについて議論し、パートナーシップ、現場のグッドプラクティス、得られた教訓について意見交換する機会が得られた。



3月、ICNは世界ワクチン同盟（Gavi）、感染症流行対策イノベーション連合およびWHOが共同で開催したCOVAX対話集會に参加し、COVID-19ワクチンの展開について市民社会団体やコミュニティ代表者に情報提供し、関与を促した。4月、ICN事務局長はイスラエルのオノ・アカデミック・カレッジ看護学部が主催したウェビナー「COVID-19ワクチン接種の課題に答える：看護の視点」で講演した。また、ドイチェ・ヴェレ・テレビ局とのインタビューで、世界の指導者たちに「ワクチンの公平性について倫理的な対応を行う」よう呼びかけた。

7月19日に、BBCは、ICNが懸念している看護師など保健医療従事者のワクチン接種率の低さについて報道した。そこでは、COVID-19のワクチン接種の世界的な取り組みにおいて、看護師をはじめとする保健医療従事者が「取り残されている」と報じられた。ICNはWHOと協力し、現状に関する情報を提供できるよう、BBCが世界中のNNAsと連絡が取れるように計らった。その結果、彼らのストーリーは世界中の何百万人ものBBC視聴者、リスナーや読者に届けられた。7月21日、さらにICN事務局長は、看護師をはじめとする保健医療従事者へのワクチン接種を優先させることについて、BBCのインタビューを受けた。

9月、ICNは、アフリカをはじめとする発展途上国でのワクチン展開の遅れが、疲弊した看護師やその他の保健医療従事者を危険にさらしていると引き続き警告した。ルワンダへの視察の際、ICN事務局長はルワンダ保健相のDaniel Ngamije博士と対談し、ワクチンの公平性などについて協議した。また、Newzroom Afrikaに、アフリカにおけるワクチン接種率の不平等がもたらす結果について話した。

11月のICN大会では、WHO欧州地域の看護師がCOVID-19ワクチン接種の展開にどのように対処してきたか、また、パンデミック時に国民にワクチンへの信頼を築くために看護師の影響力をどう活用できるかを検討するセッションが開催された。

ICNは、COVID-19パンデミックに関する2021年の活動について、別途報告書を発表している。報告書は[こちら](#)を参照。

## NNAs の強化

### 各国看護師協会組織開発 (ODENNA)

10月、ICNは、アフリカ大陸における看護協会の強化および持続可能性を高め、保健医療提供の改善と予防医療対策につなげるための新たなパートナーシップである各国看護師協会組織開発 (ODENNA) を発表した。ジョンソン・エンド・ジョンソン財団の支援を受け、このパートナーシップは、ICNのNNAsとアフリカのNursing Nowグループを結びつけ、現場の看護師の保護、支援、アドボカシーの向上を目指している。この計画には、組織評価、ICNのLFC™プログラム(33ページ参照)、十分に確立したNNAsと未成熟の協会との提携が含まれており、看護師を代表する能力を高め、相互に有益な関与と協力関係を構築することができる。

ODENNAパートナーシップのフェーズ1(2021年11月~2022年6月)では、関心を示しているNNAsの参加確保と、最終的に参加国で教育活動を実施するNNAsの教員やファシリテーターの育成が行われる。フェーズ2では、ICN組織評価ツールの導入と、NNAsによる改善点の洗い出し計画の策定、そしてフェーズ3では、参加各国でのLFCプログラムの立ち上げが行われる。

### ICN 看護師の倫理綱領

10月20日の世界倫理デーに、ICNは『ICN 看護師の倫理綱領』の改訂版を新たに発表した。これは、看護師の倫理的価値、行動責任、職務上の説明責任を明記したもので、看護師が担う様々な役割の中で、倫理的な看護実践を定め導くものである。2021年改訂版には、4つの基本領域が設けられ、倫理的行動の枠組みとなっている。その4つの基本領域とは、「看護師と患者またはケアやサービスを必要とする人々」「看護師と実践」「専門職としての看護師」「看護師とグローバルヘルス」である。倫理綱領には、看護師が基準を行動に転換できるよう、参考になる図表も含まれている。この倫理綱領は、1953年に最初に採択されて以来、世界中の看護師の基準となっている。

### 世界継続教育同盟

世界継続教育同盟(WCEA)と協働で、ICNはリーダーシップ、マネジメント、アドボカシー、チームワークにおける専門職開発のための研修リソースや、無料のCOVID-19リソースを世界中の看護師に提供している。オンライン・プラットフォームとモバイルアプリは、低・中所得国のICN会員協会が無償で利用できる。

2021年、WCEAは引き続き教育パートナーを増やし、プラットフォームを改善した。WCEAモバイルアプリにより、最前線で働く看護師もウェビナーにアクセスすることができ、第1回目は、WHO AFRO、UNICEF、UNFPAの共催で、WHO分娩ケアガイドの導入について取り上げた。このアプリは情報共有を促し、効果的で迅速なフィードバックチャンネルを作ることで、これらの国の最前線で働く人々の研修ニーズや経験についてより深い洞察を得ることができた。

COVID-19パンデミックを受けて、WCEAはICN、ジョンソン・エンド・ジョンソン、アガ・カーン大学看護・助産学部東アフリカ校との提携を発表した。アプリで配信される集中研修プログラムの開発を通じて、最前線で働く保健医療従事者を支援していく。



## アドボカシーとロビー活動

ICN は、世界の看護を代表し、看護職を発展させ、看護師のウェルビーイングを推進し、あらゆる政策で保健医療を提唱するというミッションの一環として、会員の要請に応じて定期的に政府にロビー活動を行なっている。COVID-19 パンデミック時には、看護協会が看護職を守るために自国政府との関係強化を支援するよう ICN に求めたため、こうした活動がより頻繁に行われるようになった。

1 月、ケニア全国看護師協会の要請により、ICN 会長はケニアのウフル・ケニヤッタ大統領に書簡を送り、進行中のストライキや抗議行動を解決し、保健医療従事者が身体的・経済的・精神的な保護を得られるように、NNA や看護師、その他保健医療従事者と対話を始めるよう要請した。

3 月には、レソト看護師協会の要請を受け、レソトの看護師が給与、安全、適正な労働条件をめぐってストライキを行い、数百人が解雇されたことを受けて、ICN は同国の首相に復職を求める書簡を送った。

5 月、ICN はミャンマー政府に対し、看護師やその他の保健医療従事者の権利を尊重するよう要請した。2 月の軍事クーデター以降、ミャンマーでは看護師や保健医療従事者が、病人や負傷者の治療要請だけでなく、保健医療従事者の健康とウェルビーイングを危険にさらす暴力事件の増加により、強いプレッシャーにさらされていた。

6 月、ジュネーブで米国のジョー・バイデン大統領とロシアのウラジーミル・プーチン大統領が会談した際、ICN はジュネーブに集まったスイスの看護師とともに、パンデミックのために亡くなった世界中の 115,000 人以上の保健医療従事者を追悼する機会に恵まれた。ICN は、スイスの看護師が国民投票によって、給与や教育、労働条件の改善を確保しようとする試みについても支援した。11 月 28 日に可決されたこのイニシアチブは、看護職を正しく評価するために、政府および各州に対して、養成する看護師の数を増やし、一定の労働条件と給与を保証するよう求めた。

8 月から、ICN はアフガニスタン看護師協会と定期的な対話を行い、特に女性や女子の人権の尊重と認識がアフガニスタンでの政治的議論の中心となるよう、国際社会に呼びかけた。アフガニスタン看護師協会は、紛争から逃れたアフガニスタン看護師を受け入れている国々に対し、彼らを支援し、自国の保健医療システムに組み入れるよう要請した。アフガニスタンに残っている看護師、特に女性看護師の大半は、給与を受け取ることができず、さらには将来的に仕事があるのかという懸念に直面していると強調した。

## ICN 人道基金

パンデミックの最中であっても、自然災害や人為的な紛争は死者や負傷者、被害をもたらし続けている。ICN は、他の人道危機もカバーできるよう、災害基金を拡大した。人道基金は、災害や紛争が起きている地域および期間に働く看護師や NNA を支援する。

2021 年、スラウェシ島での一連の地震をはじめ、多くの災害が NNA に影響を及ぼした。1 月のインドネシア、8 月のハイチ地震（マグニチュード 7.2）、ミャンマーの軍事クーデター、アフガニスタンの政変、12 月のフィリピン台風「ライ」などが発生した。ICN はこれらすべての国の NNA に連絡を取り、看護師に支援と連帯を提供した。

ICN は世界人道デーに、世界各地の紛争や災害で支援を続ける保健医療従事者と援助関係者を称えると同時に、気候変動が人々の健康やウェルビーイング、世界の発展に及ぼす脅威を指摘した。





## ICN 目標 3：戦略的リーダーシップ

ICN は、人々、保健医療システム（保健医療と社会的ケアを含む）および看護師の現在および未来のニーズを満たすため、看護職を前進させる戦略的リーダーシップの発揮を目指す。



### ICN 世界看護指導者機関™

革新的で高い評価を得ている ICN 世界看護指導者機関 (GNLI)™ は、看護師の政治・政策に対する理解と影響力を強化することに焦点を当てた戦略的な政策リーダーシップ・プログラムである。このプログラムは、持続可能な開発に取り組む世界的な動きにおける看護の機会という枠組みで、国連の持続可能な開発目標を支える重要なテーマを探求している。GNLI2021 では、健康格差と COVID-19 パンデミックに重点を置き、学生が地元、地域、国、世界的な政策の議論と行動に参加するための準備を行なった。

2020 年、GNLI はオンライン・プラットフォームに移行したため、GNLI 2020 のモジュール 2 は 2021 年 1 月～3 月に実施され、21 カ国から 23 人の学生が参加した。その後、学生は個々の、そして地域のプロジェクトを準備し、プロジェクトについて 2021 年 6 月に WHO 地域代表者やその他関係者に発表した。ICN 代表団として 2 人の学生が世界保健総会に招待された。

GNLI 2021 は 2021 年 9 月に開始し、19 カ国から 30 人の学生が参加した。GNLI 地域担当教員は、各地域の学生と会合し、看護師の政治的・政策的理解と影響力を強化し、地元、地域、国、そして世界的な政策についての議論と行動に学生が参加できるよう準備を整えるため、プログラムの作業を開始した。年内に、WHO 地域事務局の地域リーダーが各地域の学生とともに優先事項について話し合い、看護師リーダーと WHO 地域事務局との間に重要な橋渡しを行なった。

GNLI 修了生のネットワークが正式に発足し、地域代表者によって構成される運営委員会が、地域会議を通じて設置された。GNLI 修了生は 11 月の ICN 大会で再会を果たし、GNLI 卒業後の個人的・職業的経験や現在の仕事・プロジェクトを共有する専用セッションを実施した。

### リーダーシップ・フォー・チェンジ™

1995 年に創設された ICN リーダーシップ・フォー・チェンジ (LFC) プログラムは、看護実践の改善と健康アウトカムの向上を目的として、組織的改革の実行に求められるリーダーシップスキルを備えた看護師の養成を目指している。LFC プログラムは、実施される国の NNAs と密接に連携し、その国独自のニーズに対応して作成される。現在のプログラムと実施法は効果を上げ、より強固で効率的な労働力を構築し、サービス提供の対象となる人々にも大きなメリットをもたらしている。ICN の LFC プログラムは、70 カ国以上で実施されている。

2021 年には、**パハマ、カンボジア、中国、インド、ノルウェー**で LFC プログラムが実施された。パハマでは、看護師リーダー 9 人のグループを対象とした新しい LFC プログラムが 2021 年 1 月に終了した。デンマーク看護師協会が出資する LFC **カンボジア**は、2021 年 10 月に開始し、2022 年半ばに完了する予定である。GNLI を修了した上級看護管理者は、自国での LFC プログラムのメンターやファシリテーターを務めている。これは、看護師リーダーが次世代の看護師リーダー育成を支援する主な例である。





2021年は、ジョンソン・エンド・ジョンソンの支援により、中国におけるLFCの重要な節目の年となった。この取り組みは、中国における看護実践を改善し、より良い健康アウトカムを達成することを目的として、リーダーシップスキルを有する上級看護師400人の育成を目指している。初期段階の試験的セッションと指導者育成セッションに続き、2021年にはより広範囲にプログラムが展開された。これは、中国の看護師がグローバルヘルスの課題に対する理解を深め、国際的なリーダーシップスタイルへの洞察を得て、グループプロジェクトを通じて組織変革を展開し、保健医療システムの再設計と変革において管理能力を向上させるのに役立った。中国のさまざまな省で実施されている研修に伴い、中華護理学会と各地の看護協会との間に強力な協力関係が形成され、これは看護職に長期にわたる影響をもたらすと考えられる。

COVID-19パンデミックによる遅れを受けながらも、インドでのLFCプログラムが2021年12月に開始され、看護師リーダー40人が2つのグループに分かれて研修を受けた。2021年1月に、ノルウェー看護師協会はオンラインでの開催に対応し、LFCプログラムの実施を続けた。

ICN大会では、「リーダーシップ開発の実践：ICNリーダーシップ・フォー・チェンジおよび世界看護指導者機関プログラム」に関するシンポジウムが開催された。GNLIとLFCのプログラムディレクターが、それぞれのプログラムの目的、手法、アウトカム、パンデミックによってもたらされた変化について発表した。各プログラムの過去の参加者が、そこでの体験と自分自身、看護、保健医療への影響を共有した。このセッションでは、これらのプログラムが国内、地域、世界で看護リーダーシップの開発をどのように高めるかについての議論が行われ、幕を閉じた。



## ICN 認定グローバル・ナース・コンサルタント

2021年2月、ICNとCGFNSインターナショナルは、看護師の卓越した能力を認め、**認定グローバル・ナース・コンサルタント**（CGNC）の集団を育成するための初の認定プログラムを立ち上げた。この新たなプログラムにより、ICNは、世界中で高まる専門的な看護アドバイスへの需要に応えるため、強力な専門家リソースを形成する優秀な看護師集団を特定し、認定することができる。CGFNSインターナショナルとICNは、CGNC認定プログラムを通じて、専門臨床家や政策立案者から教育者、管理者など、様々な役割を担う世界中の看護師の能力を認証していく。

## アドバンスト・プラクティス・ナーシング

COVID-19パンデミックの際に、アドバンスト・プラクティス・ナーシング（APN）は、患者のケア、治療、生存そのものにおいて重要な役割を担ってきた。APNは世界的に最も急速に成長している保健医療専門職の1つである。APNは、ケアへのアクセスを改善し、人々の健康を向上させ、保健医療費を削減するうえで、保健医療システムの革新に欠かせない存在である。

### APNに関する出版物

2021年、アドバンスト・プラクティス・ナーシングに関する一連のガイドラインの一環として、ICNは2つの新たな報告書を発表した。「**麻酔看護師ガイドライン**」は、2015年WHA決議（WHA 68.15）を支持し、「ユニバーサル・ヘルス・カバレッジの一環として、緊急時や必要不可欠な外科的ケアおよび麻酔を強化すること、そして、2030年までに世界中の50億人の人々が安全で手頃な価格の外科的および麻酔ケアを利用できるようにすることを保証した。この決議を採択した国は、麻酔看護師の役割を強化し、国民に安全で安価な麻酔ケアを提供するために、これらのガイドラインを利用することができる。

新しい「**看護師の処方権に関するガイドライン**」は、政策立案者、教育者、規制担当者、保健医療計画者、看護師、その他の保健医療専門職に情報を提供するために、看護師の処方に関する共通理解を促進することを目的としている。また、看護師の処方を発展させ、強化するためには、決定的要素が必要であることを強調し、各国政府に対し、看護師への適切な教育、規制当局の連携、コンピテンシーを維持するための継続専門職開発を確保するよう求めている。

ICNはSpringer社との提携により、アドバンスト・プラクティス・ナーシングに関する一連の書籍を制作し、ICN会員には20%の割引価格で提供している。2021年には、看護における高度専門実践の詳細な調査と、臨床のクリニカル・ナース・スペシャリスト（CNS）の高度な実践的役割をテーマとする「**CNSの役割と実践**」、そして「**アドバンスト・プラクティス・ナーシングのスピリチュアルな側面**」という2冊が発売された。

## ICN ナース・プラクティショナー/アドバンスト・プラクティス・ナーシングネットワーク

8月、ICN NP/APNネットワークは第11回会議を開催し、48カ国から1,000人以上のアドバンスト・プラクティス・ナースが参加した。カナダのジャスティン・トルドー首相は、「2020年以降のアドバンスト・プラクティス・ナーシングを構想する：より広範囲まで、より大きな影響力を」というテーマを掲げたオンライン会議の開会式でスピーチした。

ICN NP/APNネットワークは、COVIDが蔓延する中、アドバンスト・プラクティス・ナースの感情的・精神的なウェルビーイングと回復力が、これまでどのような影響を受けてきたかを理解するために、2回目の大規模な国際研究を実施した。本研究は、ICN NP/APNネットワークの「研究と企業のグローバルアカデミー」の研究の一環であり、APNの継続的な開発に情報を提供し、促進する研究と企業に焦点を当てている。

# 1,000人

2021年第11回ICN NP/APN会議に出席したAPNの数



## ICN 目標 4 : 革新的な成長

ICN は、戦略的目標に基づき、事業と利益創出の機会を特定・確保・多様化することを目指す。

### ICN 大会

ICN は、2年に1回、会員協会の主催により、看護師を参集する国際会議を開催している。大会を通じて、ICN は、豊富なテーマについて最新の情報を提供し、刺激的な基調講演を設定することができる。また、看護師にとって、専門分野・文化・国を越えて相互の関係を築き、看護の知識とリーダーシップを発信する素晴らしい機会となっている。

第28回 ICN 大会は、2021年にアラブ首長国連邦の阿布ダビで開催を予定していた。しかし COVID-19 パンデミックのため、初めて ICN 大会をオンラインで開催した。4日間で132カ国から5,500人以上の参加者が集まり、元ニュージーランド首相でパンデミック対策・対応のための独立パネル議長であるヘレン・クラーク氏、元国連事務局長の潘基文氏、人権高等弁務官で前チリ大統領のミシェル・バチレ氏、元英国首相ゴードン・ブラウン氏など、新旧の世界的指導者を含む専門家のお話を聞いた。

「現在私たちは課題に直面していますが、パートナーシップ、イノベーション、持続可能性、そしてすべての人に保健医療を拡大し提供するというコミットメントの精神に基づいて協力すれば、この不確実な時代に耐え抜くだけでなく、成功することができるでしょう...私たちは共に、世界中の看護師一人ひとりに大きな影響を与え、悲劇的に115,000人の保健医療従事者の命を奪ったこの恐ろしいパンデミックを終わらせることができます。」

前国連事務総長 潘基文  
ICN 大会での講演

WHO 事務局長のテドロス・アダノム・ゲブレイエソス博士、WHO COVID-19 テクニカルリーダーの Maria Van Kerkhove 博士、ノルウェー外務省グローバルヘルス大使の John-Arne Røttingen 博士、ムナー・アル・フセイン国王母、Women in Global Health 事務局長の Roopa Dhatt 博士など、保健分野の専門家の講演が行われた。ICN アネット・ケネディ会長、米国下院議員の Lauren Underwood 氏、セイシェル保健大臣の Peggy Vidot 氏、南アフリカ西ケープ州保健大臣の Nomafrench Mbombo 博士など、最高レベルの看護師リーダーもこの大会で講演を行った。その他、国際労働機関事務局長のガイ・ライダー氏、シリア野党連合国連代表の Mariam Jalabi 氏、英国国会議員兼保健医療・社会保障特別委員会議長の Jeremy Hunt 氏などの著名人が登壇した。テニスチャンピオンのロジャー・フェデラー氏、世界的なメディアリーダーで慈善家のオブラ・ウィンフリー氏、宗教指導者のフランシスコ・ローマ教皇、ミュージシャンの Bono 氏と Carla Cruells Perez 氏、K-POP アイドルバンドの SHINee、オーストラリア首相のスコット・モリソン氏、芸術家の Philip Stanton 氏など、世界中の著名人が支援メッセージを寄せた。



7

会議のテーマである「世界中を看護する」は、毎日開催される地域セッションに反映され、ICNの6地域（東地中海、欧州、アフリカ、アメリカ、西太平洋、南東アジア）における問題点や課題が浮き彫りになった。

セッションでは、以下のような様々な話題が取り上げられた。COVID-19 パンデミック、世界健康安全保障、緊急・災害対策、テクノロジー、メンタルヘルス、看護への投資、看護規制、保健医療システムの強化、患者安全、マスメディアにおける看護、看護教育、ヘルシー・エイジング、看護リーダーシップ、ジェンダー平等、非感染性疾患、保健医療従事者の人権と権利、看護労働力不足、デジタルヘルスデータ、看護師の健康とウェルビーイング、WHO SDNM。

## メディアとソーシャルメディア

2020年と2021年は、ICNにとって、そして私たちすべてにとって異例な年だった。従来の形での共有・協力・会合の多くが中止された中、ICNが会員協会、提携団体、パートナーおよび一般市民とのコミュニケーションを維持できたのは、ソーシャルメディアがあればこそだった。この1年間で、ICNはTwitterで4,500人以上、Facebookで約5,000人の新しいフォロワーを獲得し、LinkedInのフォロワー数はほぼ倍増した。**YouTubeチャンネル**には、ウェビナーの録画、会員へのメッセージ、世界保健総会やその他の国際会議での声明など、24本の新しい動画を追加した。ICN主任看護師は、ICNのウェブサイト上で**月刊ブログ**を開設し、ICNの看護・プロジェクト活動を紹介している。



## 看護実践国際分類®

**看護実践国際分類 (ICNP®)** は、地方・地域・国内・国際レベルで看護実践の説明と比較を容易にする国際基準を提供するものである。1999年の導入以来19カ国語に翻訳され、現在、世界14カ所の**研究開発センター**で、200件以上のプロジェクトが実施されている。隔年でICNPの新版が発表されている。

ICNは、SNOMED Internationalと協力して、世界中で使用されている最も包括的な臨床用語集であるSNOMED CTにICNPを統合し、2021年10月に「ICNP SNOMED CT Nursing Practice Refset」をリリースした。ICNPの統合により、SNOMED CT内の看護コンテンツが強化され、より幅広いユーザー層で記録の共有と患者中心のケアを実現することが可能になる。ICNPの専門家は、SNOMED CT内の看護コンテンツを統括するSNOMED International看護臨床参照グループに積極的に参加している。

ICNは、良好なガバナンスを確保するため、2021年4月にICN認定ICNP研究開発センターの各代表とICN理事会のリエゾンからなるICNP編集委員会を設立した。編集委員会は、ICNPの質を保証し、世界中の看護師のために関連性と有用性を確保する。

ICNP 2021年版は[こちら](#)からアクセス可能。

## BBC とのパートナーシップ

2021年5月、ICNとBBC StoryWorksは、ICNのNNAsと連携して一連のビデオ映画を制作する12カ月間のキャンペーンを発表した。これらの映画は、世界の看護労働力に光を当てるために、BBCのウェブサイトの専用ハブで紹介される。この画期的なシリーズは、ユニークで親密な看護の世界を描写することで、看護という職業について一般の人々に伝え、情報を提供する。ICN大会では、看護師のストーリーを紹介する動画が放映された。

## 出版物

2021年に製作されたICNの出版物は、本報告書の中で言及されている。すべての出版物は**ICNウェブサイト**に掲載されている。ICNの機関誌である**インターナショナル・ナーシング・レビュー**は、主に看護師と関連のある看護・保健医療政策の問題に焦点を当てた四半期ごとの査読制の雑誌で、インパクトファクターは増加している。7月、Parveen Ali教授が同誌の新しい編集長に任命された。看護師であり助産師でもあるAli博士は、シェフィールド大学の看護学教授として優れた経歴を持ち、さまざまな賞を受賞している。2013年5月から同誌の編集を担当してきたSue Turale教授の後任となる。

# 2021 年度決算概況

## 内部統制システムと監査

ICNの決算は毎年、外部の独立監査法人 KPMG の監査を受けている。

また、専門の監査・リスク委員会（Audit and Risk Committee）が設置されており、ICN のリスク管理や内部統制、コンプライアンス制度の有効性に関する監視を理事会に提供している。独立した公平な委員会として、理事会、CNR、会員協会に対して定期的に業務の報告を行っている。

2021 年は、内部統制環境の強化と新たな業務計画の実施に注力した。

## 財務概要

監査を受けた決算書から、一部情報を抜粋して掲載する。通貨単位はスイスフラン、KCHF および MCHF とは、それぞれ、千スイスフランおよび百万スイスフランを表す。

ICN の財務状況は引き続き健全で安定しており、総資産は 1,240 万スイスフラン、組織の指定資金と一般資金は 940 万スイスフランである。

2021 年は、パンデミックによる看護師と助産師への壊滅的な影響について強力なアドボカシーとコミュニケーション活動を継続し、オンラインでの ICN 大会と CNR が成功を収めた。2021 年の事業利益は、大会の純利益 232,000 スイスフランを含めた 181,000 スイスフラン、2021 年の最終結果は、355,000 スイスフランの利益である。ICN 大会は2年に1度開催されるため、大会開催年の事業収入および支出はいずれも前年より高くなることに留意する必要がある。

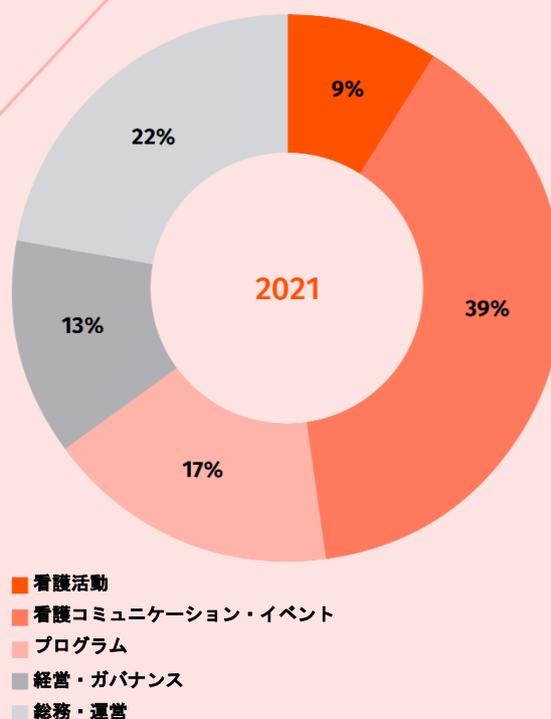
## 収入

ICN の活動は主に会費で支えられており、ICN 大会収益を除く 2021 年度の事業収入の 80%を占める。大会からの収入を含め、2021 年の純事業収入 660 万スイスフランのうち、会費が 67%を占める（2020 年は 84%）。2021 年の事業収入の増加は、大会収益 110 万スイスフランと、ICN リーダーシップ・プログラムと組織開発プログラムからの追加資金 50 万スイスフランによるものである。

## 支出

2021 年度の予算は以下のように分配された。

- 65%：看護政策、プログラム、コミュニケーション・イベントを通じた会員協会と世界の看護の支援
- 13%：会員協会の強化・支援・連絡にあたる経営・ガバナンス
- 22%：ICNの中核的なミッションを支える総務・運営



本年度の事業支出は、主に以下のプロジェクトによる影響を受けている。収益に関しては、当年度の事業支出の推移は、90 万スイスフランの大会経費に牽引されたものである。2021 年は、ICN のプログラムが発展し、特にリーダーシップと組織開発の取り組みが増え、その実施の増加により、2020 年と比較して追加収支が発生している。2021 年の会員協会代表者会議（CNR）は、オンラインで開催され、その経費は 20 万スイスフランである。

## 財務活動の結果

当年度の財務結果は、投資収益と為替レートの影響により、174,000 スイスフランの利益となった。



国際看護師協会

3 PLACE JEAN MARTEAU

1201 GENEVA, SWITZERLAND

電話番号) +41 22 908 01 00

ICN@ICN.CH

WWW.ICN.CH



# 看護の保護、価値、 投資の提唱

## 2021 年

年次報告書  
国際看護師協会

